

第 66 回役員会議事録

I 日 時 平成 21 年 3 月 26 日(木) 13 時 30 分～14 時 40 分

II 出席者 岩崎学長、工藤理事、腰塚理事、田中理事、吉武理事、谷川理事、
山田理事、岸理事、
合志監事、吉井監事、水林副学長

III 議 題

- 1 平成 21 年度年度計画について ----- [資料 1]
- 2 職員就業規則等の一部改正等について(追加分) ----- [資料 2]
- 3 出張及び旅費に関する規則施行規程及び出張及び旅費に関する細則の
一部改正について ----- [資料 3]
- 4 平成 21 年度余裕金の運用について ----- [資料 4]
- 5 財務規則施行規程の一部改正について ----- [資料 5]
- 6 大学院学則の一部改正について ----- [資料 6]
- 7 履修証明プログラムに係る受講料の設定及び科目等履修生等の授業料等に
関する規程の一部改正について ----- [資料 7]
- 8 学生宿舍の改善について ----- [資料 8]
- 9 産学連携本部の設置について ----- [資料 9]
- 10 平成 21 年度事務体制の見直しについて ----- [資料 10]
- 11 中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果(原案)の意見申立について ----- [資料 11]
- 12 平成 21 事業年度における長期借入金の償還について ----- [資料 12]
- 13 平成 20 年度余裕金の運用結果について ----- [資料 13]
- 14 平成 20 年度会計業務に関する内部監査報告書について ----- [資料 14]

IV 議 事

1～10 資料 1～10 に基づく審議の結果、それぞれ原案どおり承認された。

11～14 資料 11～14 に基づき、それぞれ報告があった。

最後に、学長から、任期中の大学運営に対する各役員等の協力に対して謝意が表され、閉会となった。

【議事における意見等】

11 監事からのコメントとして、吉井監事から、当該評価結果を第二期中期計画にどう反映させ活かしていくかが課題である旨の発言があった。

また、現在の評価システムは、評価者も被評価者も教育研究の当事者であり、受益者である学生等からの評価が取り入れられていない旨、及び日本の高等教育をどうするのかという大局的な観点から、評価システムのあり方を検討する必要がある旨の発言があった。

14 学長から、当該報告書の内容を関係組織へ周知徹底し、会計業務の一層の適正化・合理化を図るよう指示があった。

また、監事からのコメントとして、吉井監事から、会計業務の改善については、担当者レベルでの改善には限界があるので、管理職が具体的な業務内容を把握し、積極的に業務改善に取り組む必要がある旨の意見があった。

以上